

アルファ放射体実験室・

基盤研究(S) (価数不安定性をもつアクチノイド化合物)

合同研究会

2014年2月24日 10:00-16:00

東北大学金属材料研究所 2号館会議室

アルファ放射体実験室を利用する金研研究部共同研究と科研費基盤研究(S)の研究会を開催します。本研究会は2008年度から、アルファ放射体実験室を拠点とした基盤研究(S)「価数不安定性をもつアクチノイド化合物に特有の新奇量子状態の研究」(2008-2012年度、研究進捗、事後検証ともに「A」評価)の研究会とともに開催してきました。基盤研究(S)の第1の目的は、アルファ放射体実験室で純良試料育成と基礎物性測定を行い、その試料を各大学の施設でさらに詳細に測定し、最後はその試料をアルファ実験室に戻すという研究体制を確立することでした。このような研究体制の維持、発展のため、金研研究部共同研究や基盤研究(S)の収穫を検討する研究会を企画しました。興味のある方のご参加をお待ちしております。

連絡先:

東北大学金属材料研究所

アルファ放射体実験室 山村朝雄

(yamamura@imr.tohoku.ac.jp)

研究会プログラム

◎: 共同利用課題代表者、○: 基盤(S)メンバー

時間	講演者名 (敬称略)	題目
10:00	○東北大金研 山村 朝雄	開会あいさつ
10:10	◎○名大院理 佐藤 憲昭	基盤研究(S)の狙いと成果
10:20	◎金沢大医薬 鷺山 幸信	アルファ放射体の核医学利用に関する現状と展開
10:40	京都大炉 大槻 勤	京大炉における放射化学研究、共同利用の現状と今後の課題
10:55	◎奈良女大理 梶原 孝志	希土類錯体の特異な磁気特性
11:15	◎阪大院理化 福田 貴光	核スピンを介した量子磁化トンネリング現象に対するf電子間相互作用の効果
11:35	JAEA量子ビーム 矢板 毅	時間分解分散型XAFSによる溶液内ウラン錯形成ダイナミクス
11:50		昼食
13:00	○北大院理 網塚 浩	URu ₂ Si ₂ の隠れた秩序の対称性およびUBe ₁₃ の単一Uサイト電子相関について
13:15	名大院理 國方 翔太	5f及びd電子系強磁性超伝導体における強磁性と超伝導の相関
13:30	(○)京大院理 服部 泰佑	強磁性超伝導体UCoGeの核磁気共鳴による研究
13:45		休憩
13:55	◎島根大院総理工 本山 岳	ウラン化合物における点接合分光測定等の報告と今後の計画
14:15	金沢大理工 大橋 政司	f電子系化合物の異方的磁気体積効果
14:30	東北大院理 木村 憲彰	遍歴電子メタ磁性体UCoAlの量子臨界
14:45		休憩
14:55	◎○JAEA先端研 芳賀芳範	アクチノイド化合物の新物質探索と電子状態
15:15	JAEA先端研 立岩 尚之	ウラン強磁性超伝導物質の研究
15:30	東北大金研 本多 史憲	極低温、超高压を用いたウラン化合物の新奇物質探索
15:45		アナウンス (Actinides 2017ほか)、今後の共同研究に関するディスカッション
16:00		懇親会

その他の主要な参加者 (敬称略): ○金研 四竈樹男、JAEA先端研 永目諭一郎